

平成 26 年度 第 1 回木曾川地域審議会会議録

○日 時

平成 26 年 10 月 2 日 (木) 午前 9 時 30 分～10 時 34 分

○場 所

玉堂記念木曾川図書館 2 階 会議室

○議 題

- (1) 木曾川庁舎改修・耐震補強工事の状況について
- (2) 公共交通の利用促進について
- (3) その他

○出席者

委 員：8 名 (葛谷昭吾、墨 利春、太田孝子、岡村俊幸、五藤和吾、長谷川太郎、  
松村真早美、菊池妙子)

行政側：市長、交通政策室長

事務局：木曾川事務所長、総務管理課副主監、主査

○欠席者

委 員：2 名 (野々垣實、江寄充久)

○傍聴者：0 名

---

(午前 9 時 30 分開会)

【木曾川事務所長】

皆さん本日は、お疲れ様です。

委員さんが 1 名まだお越しになっておりませんが、予定の時刻になりましたので、ただ今から「平成 26 年度 第 1 回木曾川地域審議会」を始めさせていただきます。

本日、野々垣委員からご欠席の連絡をいただいております。

申し遅れましたが、私は本年 4 月より木曾川事務所長ならびに木曾川事務所総務管理課長を務めさせていただいております今西でございます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、開会に先立ちまして墨副会長の先導により、市民憲章の唱和を行いたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

【墨副会長】

それでは、市民憲章を唱和したいと思います。

前文に引き続きご唱和をお願いします。

(唱和)

【木曾川事務所長】

どうもありがとうございました。

会議に入ります前に皆様に配付してあります資料の確認をしたいと思います。

(配付資料の確認)

では、これ以降の進行につきましては、葛谷会長をお願いいたします。

( 1 開会)

【葛谷会長】

おはようございます。ただ今から平成 26 年度第 1 回木曾川地域審議会を開会いたします。開会に先立ちまして、谷 一夫一宮市長よりご挨拶をいただきたいと思ひます。

( 2 市長あいさつ)

【谷市長】

改めまして、おはようございます。本日は大変お忙しいなか、第 1 回の木曾川地域審議会にご出席賜りまして誠にありがとうございます。

5 月 7 日に新庁舎がオープンいたしまして早いもので間もなく 5 ヶ月が経とうとしています。おかげさまで市民の皆様にもお喜びをいただいているようですし、職員にとりましても新しく働きやすい環境が整いました。

新しい庁舎が出来たことによりこれまで木曾川庁舎に入っておりました教育委員会等が移転いたしましたので、現在の木曾川庁舎は、空きスペースが出来ております。本日議題の中で説明させていただきますが、庁舎を大規模に改修し、以前からお約束させていただいております(仮称)木曾川文化会館につきましても、今年、来年の 2 年をかけて整備をしまいたいと思っております。

現在、尾西の方も大規模な改修を進めておりまして、この 2 つの庁舎の周辺整備が完了いたしますと 11 年間に及ぶ合併での計画が終了します。あと一年余りですがよろしくお願ひいたします。

( 3 議題)

【葛谷会長】

ありがとうございました。それでは、議題に入らせていただきます。

(1) 木曾川庁舎改修・耐震補強工事の状況について、木曾川事務所より説明をお願いし

ます。

【木曾川事務所長】

木曾川庁舎改修・耐震補強工事の状況を説明させていただきます。

次第を 1 枚めくっていただきますと、縦長の A 3 サイズの木曾川庁舎改修・耐震補強工事概要図面がつけてありますので、その図面を参考に説明させていただきます。

図面は、上を北として、1 階・2 階・3 階の改修・耐震補強工事後の平面図になります。

新庁舎の完成により木曾川庁舎の機能を見直し、今回そのための工事を行うものです。工事概要ですが、木曾川庁舎の 1 階、2 階で耐震補強工事を行います。また、トイレを全館洋式トイレにするとともに、1 階西側にあります総務管理課と窓口課を O A フロアに改修いたします。

図面をご覧ください、1 階の改修・耐震補強工事の主な内容を少し詳しく説明しますと東側、図面の右側になりますが、ここは新庁舎へ移る前は教育部門が執務していたところになります。ここに防音対策を施した練習室 1 から 3 の 3 部屋を整備し、楽屋も 2 部屋整備いたします。この練習室フロアは、図面の宿直室と相談室のラインで壁を構築しドアを 1 箇所設けますが通常は施錠し、西側にある総務管理課と窓口課の事務所エリアに分かれます。

また、2 階等の公民館活動等の夜間・休日受付のために、現在は西側の北角、入口にあります宿直室を北側の中央付近の入口の場所に変更いたします。西側にあるトイレは洋式に変更するのに伴い男女を入れ替え、北側を女子トイレ、南側を男子トイレといたします。

耐震補強工事につきましては、図面上に耐震補強と書いてある東側 9 箇所に鉄骨補強ブレースを設置します。

次に 2 階は、南側の一番東にありました公民館事務室とその隣の視聴覚室を改修して研修室 C とします。中央にありました応接室は、会議室とします。他の部屋は床の張替えや天井を一部改修するなどの工事で部屋の形状は変わりません。

耐震補強工事は、北側で 2 箇所、南側で 1 箇所、工事をします。

工事完成後は、情報推進課が執務していた部屋を公民館事務室として、木曾川公民館主事ほか 4・5 人の公民館主事の事務室とします。

一番下の図面が 3 階になります。南側の一番東にあった議場は、机・椅子を撤去して倉庫として活用します。その左隣の応接室は床・壁・天井を張り替えて、青少年育成課とします。北側にありました第 1 会議室を 2 つに分け、青少年センターと第 1 研修室にします。第 2 会議室と第 3 会議室は床を張り替え、第 2 研修室と第 3 研修室にします。

現在の工事の状況としましては、7 月 7 日（月）から、総務管理課と窓口課は東側の教育部門が執務していたところに移り執務をしております。この間に 1 階西側の総務管理課と窓口課の O A フロア、西側の 1 階、2 階のトイレの洋式化をしております。この工事が先月中に終わりましたので、明日 10 月 3 日（金）より移動をして、来週の 6 日（月）よ

りは、工事前と同じく西側で執務を開始します。その後 1 階に練習室等を整備したり、2 階、3 階の部屋を新しい研修室に改修したり、耐震補強をしたりと本格的な工事に入っていきます。

以上が木曾川庁舎改修・耐震補強工事の状況であります。

**【葛谷会長】**

ありがとうございました。

ただいまの説明内容について、ご質問があればお願いいたします。

**【葛谷会長】**

連区の会議室をお願いしてありましたが、2 階 3 階の研修室の活用はどのようになりませんか。

**【木曾川事務所所長】**

2 階研修室使用については、今まで通り公民館・団体事業の利用として活用します。3 階研修室については青少年育成課が来ます。青少年育成課関連の団体の方々が活用する研修室です。今は打ち合わせをしているところで、使用していない場合、会議室などに利用していただいてもよいというお話をいただいております。

連区の会議室については、2 階木曾川事務所会議室を利用させていただくことになります。

**【長谷川委員】**

講堂のフロアなどについてはどうなりますか。

**【木曾川事務所所長】**

今回講堂については何も変更はありません。

**【五藤委員】**

議事堂の方はどうなりますか。

**【木曾川事務所所長】**

倉庫に改修し、青少年育成課が活用します。

**【五藤委員】**

耐震補強工事の終了はいつになりますか。

**【木曾川事務所所長】**

全部含めて来年 3 月末で終了の予定です。

**【菊地委員】**

1 階練習室にピアノは入りますか。

**【木曾川事務所所長】**

1 階練習室の管理については教育指定管理課が担当していますので、こちらでは分からない状況です。

**【菊地委員】**

新しい文化会館はどのようになりますか。資料はないですか。

**【木曾川事務所所長】**

文化会館ですが、今年度実施設計を行っているところで、こちらも教育指定管理課が実施していますので、具体的なお話は出来ませんが、執務室東側に非常用の扉ができるというお話は聞いております。文化会館から練習室へは連絡通路を通って入ることになりますと思います。場所としましては、木曾川庁舎駐車場南側、玄関より東側にできる予定です。

**【岡村委員】**

駐車場はどうなりますか。

**【木曾川事務所所長】**

木曾川事務所が管理している駐車場は、西側駐車場、南側駐車場、東側駐車場がありますが、教育指定管理課と協議中です。

**【葛谷会長】**

ご発言もないようですので、次の議題に入りますが、ここで市長さんが退席されますのでよろしくお願いします。

では次の議題（２）公共交通の利用発足について、交通政策室より説明をお願いします。

**【交通政策室長】**

皆さんおはようございます。早速ですが、公共交通の利用促進について説明させていただきます。

1 枚めくっていただきまして、この写真は、空から見た木曾川町です。  
見ていただいたとおり、一宮市は山とか海や坂がなく、がけ崩れや火山の噴火や津波とかの心配もありません。

面積は木曾川町が 9. 5 1 k m<sup>2</sup>で、一宮市が 1 1 3. 9 1 k m<sup>2</sup>です。人口も 3 3, 9 6 3 人、一宮市が 3 8 6, 5 9 1 人で、木曾川町の 11 倍となります。

交通の便も非常に良く、道路は国道 2 2 号、西尾張中央道（岐阜稲沢線）があり、一宮木曾川 IC には料金所が 1 1 ヶ所もあります。また、鉄道は、JR 東海道本線、名鉄本線と尾西線があり、駅が 4 つありますので、どこかの駅に行くのに歩いて 1 5 分、自転車でも 5 分と非常に便利です。

さらに木曾川町には、バス路線として、iーバス木曾川北方コースと名鉄バス一宮イオン線が 1 日 1 0 便走っていて、木曾川庁舎で iーバス一宮コースと接続で 1 日 1 1 便走っています。

続きまして 2 ページの都市計画図（一宮市北西部）を見てください。

木曾川町の市街化区域は、黒田地区に商業（新木曾川駅）、準工業、住居地域（木曾川駅）があります。

木曾川地区の循環バスは合併前から運行しており、木曾川病院に行くコースから始まりました。平成 2 5 年の利用状況は、2 0, 9 2 1 人で 1 日 1 0 便、1 台あたり平均 5 ～ 6 人の年配の方が木曾川病院に行かれています。

思ったより乗られていて、1 0 人乗りのバスを運行しています。

萩原交通協議会で運営している地域バスが史跡巡りを企画などして、年間約 5 万人の利用者があります。

木曾川町には一宮イオン線もあり、利用状況は 3 9, 9 4 3 人で、1 日約 1 0 人、今年になって 1 日 1 5 人となっています。

また今後、高齢者、交通弱者の増加でバスは今よりも必要となってきます。利用者がなくなると、バスはいつまで続けられるかが心配になります。

次に新聞切り抜きで、バスが足りないということについて、バス業界の最新状況を少しお話しします。

この 4 年間で 2 1 0 件のバスが関係した交通事故が発生し、ケガや死亡者が 1 9 6 人となり、深刻な状況です。これは、規制緩和による中小業者の参入、経営の合理化、待遇の悪化、低賃金、運転手の高齢化、健康状態の悪化、高齢化、運転手を希望する若者がいないなどの理由によりバス運転手が足りない状況となっているからです。

一宮市の iーバスの委託契約は 5 年ごとの契約更新で平成 2 2 ～ 2 6 年度で契約終了します。平成 2 7 ～ 3 1 年度は運行できそうですが、確約はできない状況です。平成 3 2 年度以降は契約できるか不明です。

今後 2 0 年は続くといわれる人手不足で、バスの運行事業を断られる可能性もあります。

3 ページは人口動態です。

一宮市の人口の状況は、高齢者の占める割合が増加しています。

日本全体でみると、平成 23 年頃から日本の人口は減少し、子どもや生産年齢人口の 0 歳から 65 歳までが急速に減少しています。

一宮の人口動態を平成 17 年、平成 21 年、平成 25 年で見ると、平成 25 年に人口が停滞しはじめ、高齢者の割合が増加していますが、まだ健康な高齢者が多いと思われますのでそれほど心配ないと思います。

平均寿命トップは長野県で、高血圧の人を減少させたことによるものです。健康長寿は、静岡県と愛知県で、気候、食べ物の影響があると思います。

一宮市でも、人口が増えている地域は、木曾川町、今伊勢、駅中心部、大和、丹陽、奥町で、地価調査では土地の価格も上がっています。しかし市全体で見ると将来は人口が大幅減少する可能性もあります。

問題は若い女性の人口で、結婚して、出産して、子育てする年代が異常な減り方をしています。男性も同様です。そのため 0～9 歳の子供の人口が減少しています。

高齢者も亡くなるので増加傾向は止まります。娘さん、お孫さん、お嫁さんを市から出さないようにして、市外からお嫁さんをもたらってくると人口の減少を多少は食い止められます。

次は自治体半減の新聞報道です。

新聞報道では、一宮市は平成 26 年 1 月に初めて人口が減少したと伝えています。

5 月の新聞報道の内容紹介では、日本創成会議によると自治体の半数が消滅の恐れがあり、100 年間で人口は倍になりましたが、25 年間で人口が半分になるといわれています。

4, 5 ページですが

国の方向性としては、公共交通関係の、法律が次々と改正されていきます。

人口が減少するという初めての経験で、国は政策を方向転換し、コンパクトシティを目指したまちづくり一体となる公共交通に見直して行きたいといっています。

都市のイラストで説明しますと、国が心配する山間部の中規模都市、人口集中地区が経済成長とともに拡大しましたが今は減少中であります。何も対策をしなければ、まち全体が衰退し消えていきます。

人口密集地域においても、まちをコンパクトに小さくし、競争して他の市から住民を引っ張ってくる方法もありますが、郊外を開発する政策を見直し、少しずつ人口を中心部に集めていくことが大切です。

木曾川町の特徴、駅の重要性、コンパクトシティを進めるため、インフラ、集客施設の集中を促します。まさに今、市が実施しています、駅の改善、木曾川庁舎整備、文化会館整備がそれに当たります。

一宮市の 100 年前の図面をみますと、このような集落に戻ってしまうということです

が、このような状態では税収減少が予測されるため、市内全域を対象としての業務はできなくなるかもしれません。

100年ほど前の資料をいろいろ調べてみましたので紹介します。

約80年前の一宮市の観光地図をみつけました。工場地帯、蘇東線、明治の村の写真、木曾川今昔の資料です。

観光地図、公共交通、曼荼羅寺、森林平医院診療所、森製薬工場があります。

旧国道がなく、尾西線木曾川橋駅、雀の宿、工場、路面電車、起水泳場がありましたが、橋がないので渡し船が公共交通でした。

工場地帯の写真、路面電車写真、明治の村の写真、アメリカ製機関車、偶然発見した「木曾川今昔」になります。

6 ページは、交通安全の話ですが、最近市内で3件の交通事故が発生しました。最近の事故の傾向としては当事者（被害者、加害者）に高齢者が絡むケースが多発しています。とにかく高齢者の方が事故に遭わないように考えなければなりません。

今、市では高齢者の方が車を運転して事故を起こさないようにするため、免許証を返却された方に、お金を記憶させる交通系のICカードマナカを差し上げています。年間200人を越える高齢者の方が免許証を返納しています、マナカは2,000円分のカード（当初使えるのは1,500円分です）になっています。

このカードは、元気な高齢者の最強の道具です。マナカを利用している方は、電車、地下鉄、バス利用ができます。小銭、つり銭を使用せず、簡単に料金を支払えるため、気軽に出かけられます。さらにマナカは、全国の各区域内の鉄道、ほとんどのコンビニ、また市内ですとテラスウォーク、アピタ木曾川、イオンモール木曾川、マックバリュー木曾川、アスティで買い物ができますのでお勧めしています（一部専門店を除きます）。他に市役所の食堂でも利用できます。

最後になりますが、木曾川町地区についても同様にコンパクト化が進んでいます。

人口が減っていくかもしれませんが、深刻に考えるべきではありません。ただし、今後今までと同じような生活を持続させるには子どもを生み、育てやすい環境づくりに努めることです。働き盛りの若い世代をこれ以上減らさないようにすることも真剣に考えなくてははいけません。

高齢者を大切に、健康で長生きしていただき、できれば社会に貢献してもらおう。人口密集地域にはさらに人口が集まるようにする。そういう状況に対応した公共交通になるよう今後見直していく必要があります。

今後、社会状況の変化に気を付けて、国や県の動向をしっかりと見極め、地元の交通会議を開催しながら一宮市にあった、また木曾川町地区にあった公共交通を目指していきます。

是非、今走っている木曾川北方コースのバスを可愛がっていただきますようお願いして



私の話を終わります。ご清聴ありがとうございました。

【葛谷会長】

ありがとうございました。

ただいまの説明内容について、ご質問があればお願いします。

【葛谷会長】

さきほどお話のあったラウンドアバウトですが。

【岡村委員】

J R 尾張一宮駅の東側に 1 ヶ所あるようです。

【交通政策室長】

ラウンドアバウトが一宮駅前にあります。一旦停止ではなく徐行で左折に入ります。将来的には増やすという考えはありますが、いつかは分からない状況にあります。

【五藤委員】

i バスが運営できなくなる可能性はありますか。

【交通対策室長】

可能性はあります。

【五藤委員】

木曾川庁舎の周りが市街化調整区域なので何とかならないかと思っています

【葛谷会長】

市街化調整区域をはずすと発展すると思います。

【菊地委員】

里小牧の信号のところで、車があまり通らないが、歩行者は信号が変わるまで待っていないといけない交差点がいくつかあります。

家から図書館に行くのに二つも踏切を待たないといけない。木曾川町は東西が行きにくい。

【岡村委員】

地元は高架にしてほしいと言っている。

【交通政策室長】

例えば鉄道が高架になると便利とか、総合駅ができて駅がひとつになると良いと思うが、かなりの資金がかかるので難しいかと思います。

【葛谷会長】

ご発言もないようですので、(3) その他の議題に移りたいと思います。事務局の方は何かありましたらお願いしたいと思います。

【総務管理課副主監】

では、最後に防犯・交通安全の一口広報をさせていただきます。

(防犯・交通安全の一口広報の読み上げ)

【木曾川事務所所長】

次に、今後の地域審議会の開催でございますが、次回の第 2 回は 12 月 18 日午後 2 時から予定しております。また開催案内を郵送させていただきますのでよろしくお願ひします。

事務局からは、以上でございます。

【葛谷会長】

ありがとうございました。

そのほか、委員の皆様から、何かお話がございますでしょうか。

ご意見もないようですので、これを持ちまして、平成 26 年度第 1 回木曾川地域審議会を閉会します。

皆様、ありがとうございました。

(午前 10 時 34 分終了)